

講義名称	小論文作成法	担当教員名	高山 有紀
科目群	人文学 (HUM) ・アカデミックブリッジコース必修		
科目区分等	日本語	単 位	2
対象学年次	2年・春学期	ナンバリング	HUM281

授業のキーワード	論旨の把握、文章の書き方、小論文の作成
授業の概要	課題文を読んで理解すること、時間内に小論文を作成することに慣れていきます。原則として、四大編入を目指している人の履修を歓迎します。
期待される学習成果 (目標)	1、小論文を書く力が身につきます。 2、時事問題についての知識を得られます。 3、志望する学問領域への適性をはかることができます。

#### 授業展開

回	テーマ	内 容
1	はじめに	授業の進め方について説明します。
2	課題文を読む①	課題文を読み、論旨をまとめる練習をします。
3	課題文を読む②	課題文を読み、論旨をまとめる練習をします。
4	課題文を読む③	課題文を読み、論旨をまとめる練習をします。
5	実践練習	大学入試レベルの小論文の問題に挑戦します。
6	小論文を書く①	小論文の書き方について、基本的事項を学びます。
7	小論文を書く②	小論文の書き方について、基本的事項を学びます。
8	実践練習	大学入試・編入試験の過去問、オリジナルの問題に挑戦します。
9	実践練習	大学入試・編入試験の過去問、オリジナルの問題に挑戦します。
10	実践練習	大学入試・編入試験の過去問、オリジナルの問題に挑戦します。
11	実践練習	大学入試・編入試験の過去問、オリジナルの問題に挑戦します。
12	実践練習	大学入試・編入試験の過去問、オリジナルの問題に挑戦します。
13	実践練習	大学入試・編入試験の過去問、オリジナルの問題に挑戦します。
14	実践練習	大学入試・編入試験の過去問、オリジナルの問題に挑戦します。
15	おわりに	本講での学習を総括します。

定期試験	編入学試験を想定した小論文の試験を行います。
授業時間外学習	授業で書き上がらなかった回は、自宅で時間を計りながら、小論文を仕上げてもらいます。
評価方法	授業への取り組み、課題の提出状況 (70パーセント)、試験 (30パーセント)
使用する教科書 (必ず購入してください)	教科書は使用せず、プリントを配布します。
参考文献	相沢理『小論文 時事テーマとキーワード』社会科学編 旺文社 代々木ゼミナール編『新小論文ノート 2018』(代々木ライブラリー)